

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-179176

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月7日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	P I	
C 1 2 N 15/09	Z N A	C 1 2 N 15/00	Z N A A
A 6 1 K 38/00	A D Z	A 6 1 K 39/395	Y
		45/00	
		C 0 7 K 14/315	
C 0 7 K 14/315		16/12	

審査請求 未請求 請求項の数24 F D 外国語出願 (全103頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願平9-299298	(71) 出願人	591002957 スミスクライン・ビーチャム・コーポレイ ション SMITHKLINE BEECHAM CORPORATION アメリカ合衆国ペンシルベニア州19406- 0939、キング・オブ・ブルシア、スウェー ドランド・ロード709番
(22) 出願日	平成9年(1997) 9月24日	(72) 発明者	マーティン・カール・ラッセル・バーナム アメリカ合衆国19403ペンシルベニア州ノ ーリスタウン、タングルウッド・レイ ン2927番
(31) 優先権主張番号	60/027030	(74) 代理人	弁理士 青山 蓑 (外1名)
(32) 優先日	1996年9月24日		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		
(31) 優先権主張番号	60/040656		
(32) 優先日	1997年3月10日		
(33) 優先権主張国	米国 (US)		

(54) 【発明の名称】 新規 I g A F c 結合タンパク質

(57) 【要約】

【課題】 新規な I g A F c B P および該タンパク質をコードする DNA が望まれている。

【解決手段】 本発明のポリペプチドのアミノ酸配列を、ストレプトコッカス I g A F c B P 等の他のタンパク質の既知アミノ酸配列と比較することにより、その相同性を検討することで新規な I g A F c B P を提供するものである。また、組換え技術によりかかるポリペプチドを製造する方法；感染、および細菌感染を処置するためのかかる I g A F c B P の利用方法；かかる I g A F c B P に対するアンタゴニストおよび感染および細菌感染の処置のための治療用としての使用； I g A F c B P 核酸配列およびポリペプチドの宿主中の存在に因与する疾患の検出のための診断アッセイ；および I g A F c B P をコードするポリヌクレオチドの検出および宿主中のポリペプチドの検出のための診断アッセイをも開示する。

BEST AVAILABLE COPY